

進行上の注意 (北信大会 卓球競技)

<団体戦>

1 オーダー用紙は3枚複写となっている。1枚目は本部記録用、2枚目は相手校との交換用、3枚目は自校記録用となる。

2 オーダー交換は試合コートで原則として監督が行う。
試合番号が若いチームの監督が進行、反対が記録の係とする。

*オーダー交換の際の注意事項

★試合コートに各チーム移動する。(試合番号の若いチームが、『対戦結果ボード』の設置した側とする)

★まず監督が三枚複写の二枚を持って、お互いに試合コートで交換する。

★『整列』の指示があったら、両チームは並ぶ。(選手はユニフォーム姿で整列する)

進行の監督に行っていたきたいこと

- ① オーダー交換をすましたのち、チームを整列させる。
(各校の1番が進行の監督側にくるように整列する) (1回戦のみ一斉で挨拶する)
 - ② 「これから〇〇中学校対、●●中学校の試合を始めます。(礼。)」と挨拶する。
 - ③ キャプテン同士、トスをさせる。トスをして勝ったほうのチームが1・3・5番の審判、負けたほうが2・4番の審判と、3番の副審とする。キャプテンと審判を確認する。
 - ④ オーダーの順番に並んでいるか確認する。初めに試合に入る台を確認し、試合を開始させるように指示をする。(オーダーの発表や改めての挨拶は行わない)
- ≪試合を行う →空いた台から4番、5番の試合を入れる≫
- ⑤ 3点先取した時点で試合をとめる。**注意** 3台以上で進行しているので、1・2・4を取ったとしても、3のダブルスが試合中であればその試合は行う)
 - ⑥ 試合が終了したら、整列、挨拶させる。(選手はユニフォーム姿で整列する)

記録の監督が行っていたきたいこと

- ① 本部席より記録用台紙を持っていく。
- ② オーダー用紙の1枚目を記録用台紙に貼る。
- ③ 試合スコアを正確に記録する。
- ④ 試合終了次第、お互いの監督からサインをもらう。

★勝ったチームの監督が本部に記録用紙を提出

3 すべて3点先取で行う。

4 試合はおよそタイムテーブルによって行う。

5 時間の関係上、5台一斉に使用する試合もある。また、長引いている団体戦については、空いている台を指定する場合もある。

6 フロアにすることができるのは、登録選手(必ずユニフォームにゼッケンをつける)・監督・登録されたアドバイザー、審判員の生徒(2~3名)とする。

7 監督・アドバイザー・選手は座って応援する。

8 試合間に空き台での練習は禁止とする。

9 ゲーム間の水分補給は認めるが、試合進行に影響のないようにする。また床にこぼさないように配慮する。

<個人戦>

★個人戦でのゲーム間のアドバイスは、一切認めない（ギャラリー・階段等からも）。
違反した場合には、違反者の退場及び選手の失格もありうる。

- 1 審判の割り当ては第1試合のみ、役員校の生徒が審判を行う
第2試合以降は、敗者審判制とします。
- 2 第1試合は、タイムテーブルにそって、**女子1-1～1-24**までの選手が台に入る。
女子1-25～1-32、男子1-1～1-16の選手は、選手招集所（ベンチ）に集合する。
これ以降は放送により選手招集所に集まる。
- 3 試合に負けた選手は本部席に試合の結果を報告する。対戦表とともに、試合球の入ったかごを持ってくること。試合結果の報告は、以下を参考にする。
「試合番号1－〇番の試合は、3－〇で△△中の□□さんが勝ちました。」
- 4 試合に負けた選手はその台の審判を行う。勝った選手は、次の試合の放送を待つ。
- 5 2回戦以後の試合を勝ち抜いた選手は、2階に上がらず、ベンチ（選手招集所）にて次の試合を待つようにする。（変更の場合は、放送にて連絡します）

<その他>

- 試合前の練習は、団体戦、個人戦ともに3本とする。※ただし、個人戦の第1回戦の試合については、2分間の練習を認めます。
- 審判は、ストップウォッチで計測し、時間になったら試合を開始してください。
 - 以降の試合については、通常通り3本の練習で試合にはいる。

<その他、競技全般に関わって>

- 1 チェンジエンドは従来のルール通り行う。5ゲーム目、先にどちらかの選手が5点を取ったとき、チェンジエンドを行うので忘れないように注意すること。
- 2 試合中のタオルは台にかける。ラケットケースを床に置きその上にタオルを置いても良い。
- 3 試合前のラケット確認は、相手に自分にラケットを渡さなくてもよいが、相手が確実にラケットを確認できるようにする。
- 4 試合後は、相手選手・審判への挨拶を基本にする。選手同士の握手については、選手同士が握手または、ラケットコツンをする。
- 5 朝の練習を行い、開会式や閉会式もフロアで行う。